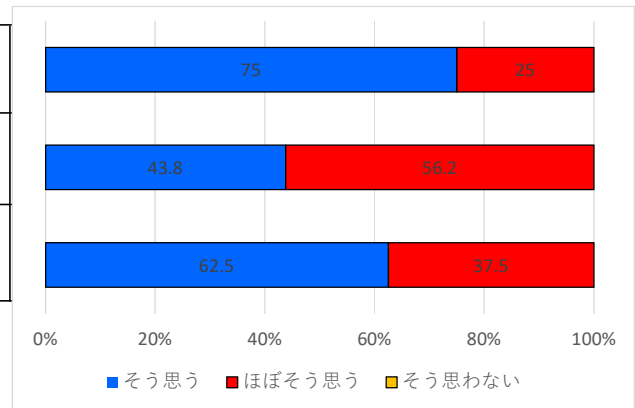


# 令和5年度岩成台小学校学校評価アンケート(教職員対象)

## ① 特別活動

1 教職員共通理解のもと「岩成っ子タイムSST）」が実施されている。
2 「岩成っ子タイム (SST) 」で児童のコミュニケーション力が育まれるよう活動のめあて、展開、振り返りを工夫している。
3 異学年交流の機会を積極的に設けることにより、児童同士の間関係づくりに効果が見られる。



### <取組状況>

#### ①-1

- ・計画表に基づき、毎週木曜日、決まった時間に全校体制で行うことができている。
- ・教職員研修やミニ研修も定期的に行われており、取り組みやすい。

#### ①-2

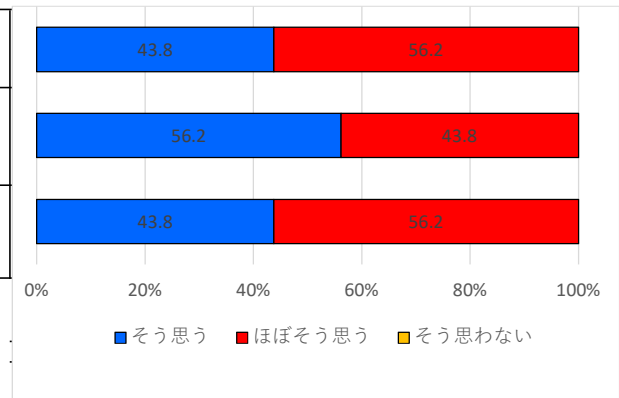
- ・最初にめあてを示し、最後に振り返ることで、何を意識するとよいかが明確であった。
- ・児童のコミュニケーション力が育まれるよう活動のめあてについては、教員からだけでなく児童にも決めさせている。

#### ①-3

- ・高学年が低学年の児童に優しく声をかけたり、低学年が高学年を頼りにしていたりする姿が、なかよし班活動以外の場面でも見られた。
- ・上級生が下級生に声をかけている場面も多く、日常生活に反映されている。

## ② 学習指導に関する設問

1 授業公開や参観、相互評価などにより、学び合いながら授業改善に取り組んでいる。
2 一人一台端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っている。
3 適切な発問・見やすい板書・環境の整備などの基本的な授業力を身に付けている。



### <取組状況>

#### ②-1

- ・一人一授業公開を行い、互いに参観することで、教員全体の指導力と意識の向上につながった。
- ・お互いの授業を参観し合い、ジャムボードを活用し相互評価することは、よい学びの機会となっている。

#### ②-2

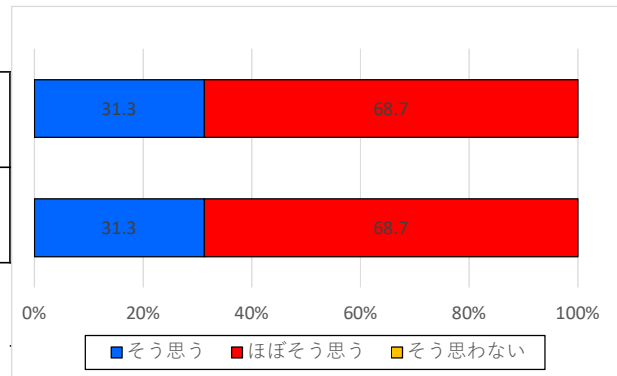
- ・グループの考えや実験方法等について、ジャムボードを有効に活用し、協働的な学びができています。
- ・単元末の確認ではキュビナ、思考の共有ではジャムボードを積極的に活用した。
- ・個別に取り組むことができ、レベルアップも図れるため、キュビナをもっと活用できるとよい。

#### ②-3

- ・児童が授業に集中できるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境を常に意識した。
- ・ユニバーサルデザインを考慮した板書を心がけ、児童の視覚に配慮した板書をしている。
- ・教材研究に注力し、児童の学びを深めるための発問の工夫を心がけている。

### ③ 道徳教育

- |  |
|--|
| 1 「考える道徳」「議論する道徳」の授業が展開できている。          |
| 2 道徳の時間や情報モラル教室で学んだことを児童が実践できるようにしている。 |



#### <取組状況>

##### ③-1

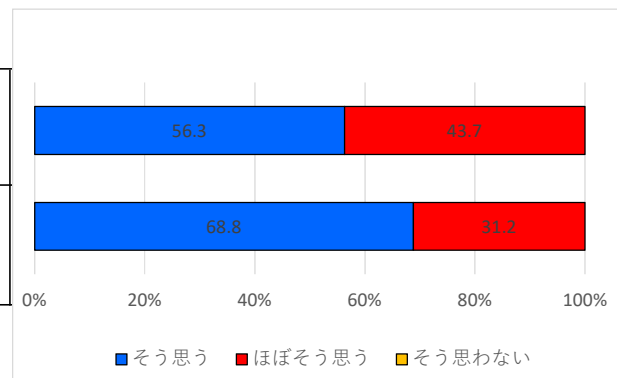
- ・児童の発達段階や学年を踏まえた発問を心がけている。
- ・師範授業や研究授業での学びを授業展開に生かしている。
- ・ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れ「考える道徳」「議論する道徳」の授業を展開している。

##### ③-2

- ・道徳の学びが、将来の児童の生活や行動に影響するよう、授業展開やワークシートなどに工夫を凝らしている。
- ・授業のワークシートに朱書きをしたり、学んだことを児童が実践できるよう声かけをしてフィードバックしている。

### ④ 学級経営

- |  |
|--|
| 1 ユニバーサルデザインを取り入れた学級づくりに努めている。               |
| 2 一人一人の個性の理解と報告・連絡・相談を行い、児童の心に寄り添った指導に努めている。 |



#### <取組状況>

##### ④-1

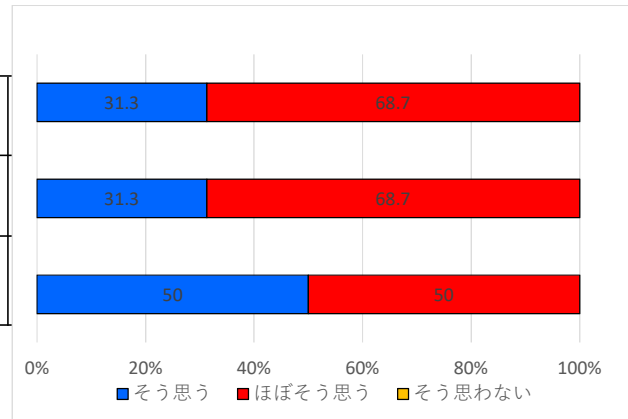
- ・掲示板の前面には掲示物を貼らず、児童への視覚的な刺激を最小限に抑えた教室環境に努めている。
- ・ソーシャルスキルトレーニング（SST）の取組や『よいとこ見つけ』などにより、学校全体が協力し合い、お互いの違いを理解し合う雰囲気づくりに努めている。

##### ④-2

- ・職員同士の情報共有を大切にし、協力し合い、互いの強みを理解・尊重し合うことを心がけている。
- ・職員同士の情報共有だけでなく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの関係職員や関係機関が密に連携して支援を行うことができている。

## ⑤ 生徒指導

- |   |
|---|
| 1 全教職員で全校児童の学校生活の支援・指導を行っている。                 |
| 2 児童同士の好ましい人間関係づくりを目指し、あいさつや正しい言葉遣いなどを奨励している。 |
| 3 児童の指導に関して家庭と緊密に連絡をとっている。                    |



### <取組状況>

#### ⑤-1

- ・様々な場面で担任以外の教職員も児童に声をかけている。
- ・教職員同士の連絡を密にとり合い、児童一人一人に合った支援・指導を行っている。
- ・あいさつ運動などを通じて、全校児童の学校生活の支援・指導を行うことができている。

#### ⑤-2

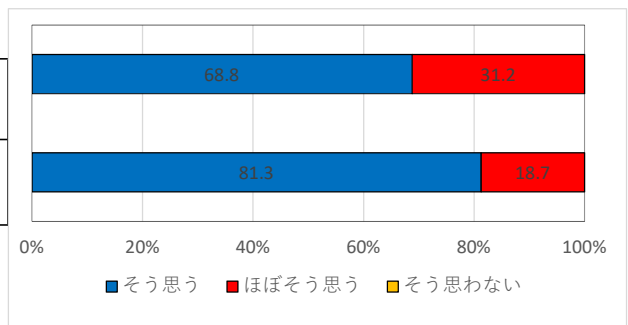
- ・場に応じた言葉遣いや思いやりのある発言を心がけるよう、常に指導している。
- ・おおむねできている。さらに、児童が自ら率先して挨拶し、正しい言葉遣いを身に付けるためにも、家庭との連携を大切にしていきたい。

#### ③-3

- ・学校生活で心配なこと、怪我、トラブル等があった際は、迅速に家庭に連絡し情報共有を図っている。
- ・緊密な連絡を心がけている。

## ⑥ 健康安全

- |  |
|--|
| 1 児童の健康安全を守るための研修を行い、予防の対応と緊急時に対応できるようにしている。 |
| 2 感染症対策や食物アレルギー対応を適切に行っている。                  |



### <取組状況>

#### ⑤-1

- ・不審者侵入時の防犯対策、アナフィラキシーショック時のエピペン使用研修、AEDによる救急研修など、様々な非常時の場面を想定した研修や避難訓練が行われている。

#### ⑤-2

- ・手洗い・換気を励行している。アレルギー対応も、その都度職員全体で情報共有し、適切な対応に努めている。
- ・学校生活管理指導表や食物アレルギー対応表等を活用し、アレルギー内容の変更等があれば適宜対応している。

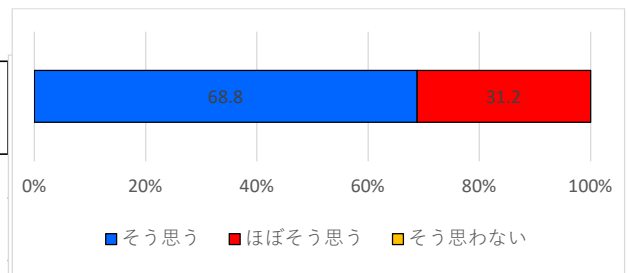
### <改善策>

#### ⑤-1

- ・緊急時に適切な対応をするためにも、日頃からシミュレーションを行い、適宜、避難訓練の実施方法に工夫を加えていく必要がある。

## ⑦ 開かれた学校づくり

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 保護者や地域に、学校の様子や教育情報を分かりやすく発信している。 |
|------------------------------------|



### <取組状況>

#### ⑦-1

- ・常時学校ホームページの更新を行い、最新の情報を提供している。
- ・Home&Schoolを有効に活用し、学校の様子や補足の必要な情報を発信できている。